

16 県営治山事業の促進

農林水産局森林保全課

提案の要旨

県営治山事業の一層の促進

現状及び課題

近年、全国的に異常気象による局地的な集中豪雨が頻発し、山腹崩壊、地すべり、土石流などの山地災害が発生しています。

本市においても平成22年7月の梅雨前線集中豪雨などにより数多くの土砂崩れが発生し、近隣に居住する住民の不安は深刻なものとなっています。

こうした危険箇所については、治山事業の実施により改善を見ているますが、市内には今なお山地災害のおそれのある箇所が残っています。

このような現状から、荒廃山地の災害予防や復旧などの治山事業の施行により、安全・安心な住民生活の確保を図っていく必要があります。

取組状況等

○県営治山事業の進捗状況

単位：カ所

年 度	事業完了箇所	備 考
平成24年度	3	
平成25年度	7	
平成26年度	6	
平成27年度	3	
平成28年度（予定）	6	
計	25	
平成29年度以降 （未実施箇所数）	2	
合 計 （危険箇所数）	27	平成27年度実施計画見直し

提案の内容

○ 県営治山事業の促進

山地災害から住民の生命・財産などを保護するとともに、森林を保全して豊かな水源のかん養、生活環境の保全・形成などを図るため、未着手の箇所について、早期に治山事業を促進すること。

平成22年梅雨前線集中豪雨の被災状況：川尻町小畑地区

〔着手前〕



〔完 成〕

